

### 公共施設計画の原点と今回の改定意義

#### 【経緯・原点】 「危機の直視」からH28年にスタート

- ・ 公共施設の一斉老朽化と、膨大な維持管理費による財政の圧迫の回避
- ・ 住民サービスや新たな施策への投資を制限させないための決断

#### 【公共施設計画とは】 未来を見据えたまちの「経営戦略」

- ・ 学校や公民館（ハコモノ）、道路や水道（インフラ）など市の資産を将来にわたって維持・管理
- ・ 長期(30年)計画における、10年目の「見直しタイミング」



### 10年間の歩み①：ハコの適正規模化

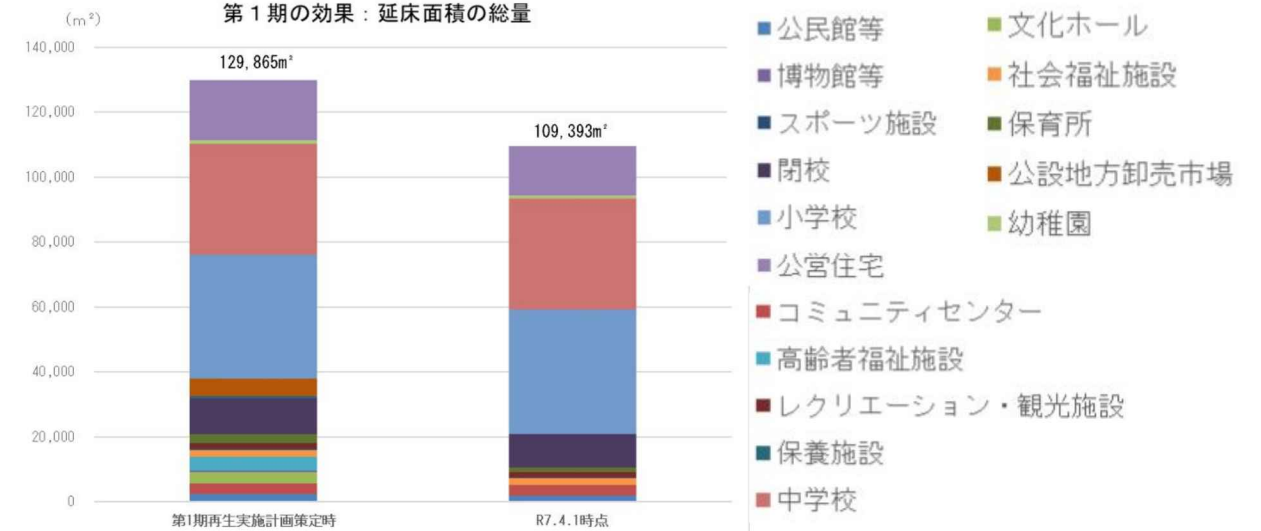
#### 老朽する施設の縮減による再生

老朽化の進む公共建築物を  
約20,472㎡(約15.8%)縮減

#### 「ハコ」から「機能」の集約

施設の複合化や多機能化により、  
市民サービスの質と利便性を維持

### 第1期 対象施設 延床面積総量



#### まなびあむ



#### うみべのもりこども園



### 10年間の歩み②：未利用財産を稼ぐ・使われる財産へ

#### 【公民連携】旧岡田上小学校を植物工場に(株) YASAI

維持費の解消／新たな財源の確保／地域雇用の創出

#### 【地域共創】旧丸山小学校での新たな賑わいづくり

住民が主体で「マルシェ」等を開催

地域のシンボルを、集い・つながりの拠点へ



## 2 公共施設再生に関する計画の改定について

### 改定（統合）する公共施設に関する2つの計画

- ① 【公共施設全体の総括的な管理方針を示す基本方針】

### 舞鶴市公共施設等総合管理計画【改定】

今後40年間の総更新費用  
**2,756億円**

【公共建築物】

学校・公民館・市営住宅等

【インフラ施設】

道路・橋梁・上下水道など

- ② 【公共建築物を対象に、評価から具体的な再編までを示す実行計画】

### 舞鶴市公共施設マネジメント基本計画（統合・改定）

旧・公共施設再生基本計画 + 旧・公共施設再生実施計画

【一本化】で市民に分かりやすく、伝わりやすい計画体系へ

### 両計画を貫く「3つの基本方針」

1



#### 「安全・安心」の確保

事後保全から「予防保全」へ。壊れる前に直し、安全を守る。

2



#### 適正配置と利便性の向上

集約・複合化を推進。  
多機能化で市民の利便性を向上。

3



#### 公民連携・有効活用

民間活力で行政負担を低減。資産を活かし新たな財源を生み出す。

## 2 公共施設に関する計画の改定について

### 改定のポイント① 実効性を高める新たな進行管理体制

PDCAから「CAPD」へ

「Check（評価・分析）」からスタートする  
実践的サイクルの導入

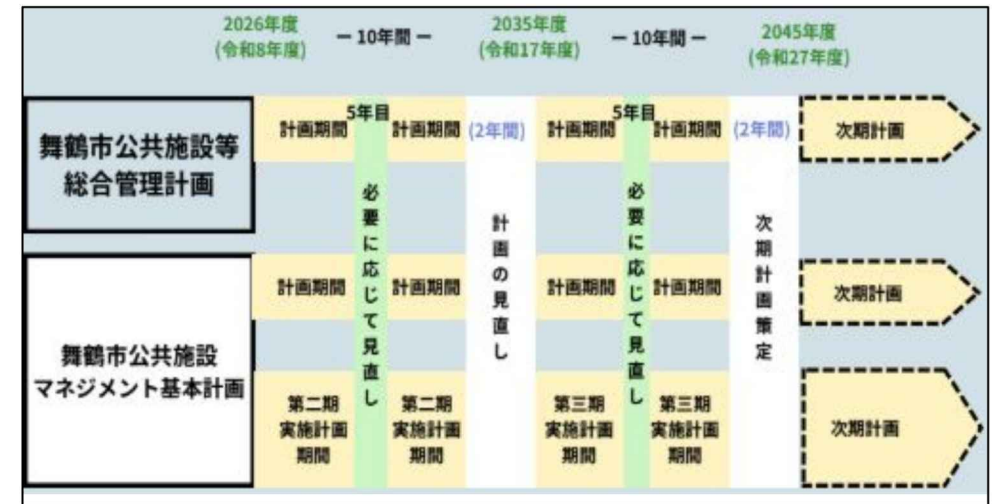


5年目周期での見直し

社会情勢の急速な変化に対応するため、  
10年の見直し周期を5年に短縮

合議体の設置

理事者・部長級による「戦略的合議体」の設置。  
投資の優先順位を組織的に判断



## 2 公共施設再生に関する計画の改定について

### 改訂ポイント② 市民対話を重視した「自分ごと」化

- ・ 対話型ワークショップ（加佐・大浦・東・西）を実施。
- ・ 単なる施設集約ではなく、「機能」を起点に考える。
- ・ 生の声を計画へダイレクトに反映。

複合化で暮らしを支える  
ワンストップ拠点に。



クラウドファンディングで整備。  
地域に新たな活力を。



官民の垣根を越えた連携でまちに賑わいを。

### 計画を使って進める公共施設再生①

#### 1 計画改定についてパブリック・コメントでの意見を募集

**[意見募集期間]** 令和8年5月 25日(月)～令和8年6月 23日(火)

**[公表場所]** 資産マネジメント推進課、市政情報コーナー、西支所、加佐分室、各公民館、まなびあむ、東・西図書館、舞鶴市ホームページにも掲載

**[意見提出方法]** 意見書(様式自由)に「舞鶴市公共施設等総合管理計画(案)に対する意見」及び「舞鶴市公共施設マネジメント基本計画(案)に対する意見」と明記し、住所、氏名、電話番号及び意見を記入のうえ、次のいずれかの方法により提出。

(1) 郵送: 〒 625-8555 舞鶴市資産マネジメント推進課(住所記載不要)

(2) FAX: 0773-62-5099

(3) 電子メール: shisan@city.maizuru.lg.jp

(4) 直接持参: 資産マネジメント推進課(市役所本館 3階)

※匿名、電話、口頭による意見は受付できません。

## 計画を使って進める公共施設再生②

### 2 機能別ワークショップによる再生方針の確立

6月から「公民館の未来を考えるワークショップ」を開催

### 3 公共施設マネジメントと現状の発信

シンポジウム2026の開催（秋頃開催を予定）

### 4 他計画との連動による全体最適

「学校規模適性化ビジョン」「公園ストック計画」等との連動による「まちづくり」の牽引



問い合わせ先					
事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
公共施設の再生に関する諸計画の改定について	資産マネジメント推進課	山口・由里・渋谷	0773-66-1045	0773-62-5099	shian@city.maizuru.lg.jp